

ノロウイルスとは

★特徴

- ・感染性胃腸炎や食中毒の原因となるウイルスです。
- ・一年を通して発生していますが、特に冬季に流行します。
- ・感染力が強く、少量のウイルスでも感染することがあります。

★感染経路

- ・感染した食品取扱者を介して、汚染された食品を食べた場合。
- ・汚染された二枚貝を、生あるいは十分に加熱調理しないで食べた場合。
- ・感染者の嘔吐物や便を処理する際に、人の手などを介した二次感染。

★症状

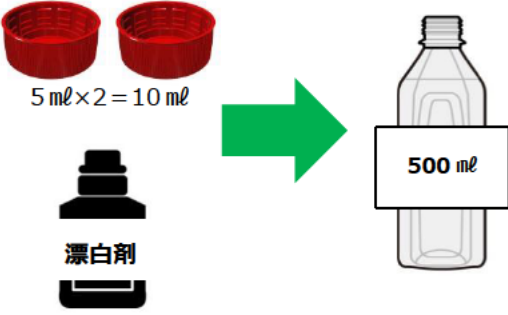
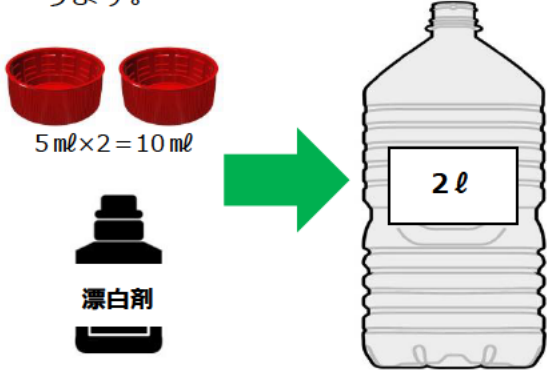
- ・感染から発症までの時間は 24～48 時間です。
- ・吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、微熱が主な症状です。
- ・通常、症状は数日でなくなり、後遺症は残りません。
- ・症状がひどい場合、脱水症状になることがあり、入院が必要となることもあります。
- ・症状がなくなってからもウイルスの排泄が続くことがあります。

★対策と予防策

- ・ノロウイルスにはワクチンがありません。日頃から手洗いをしっかり行うことが予防の基本です。
- ・ノロウイルスの消毒には、次亜塩素酸ナトリウム（塩素系漂白剤）や加熱（85℃で 1 分以上）が効果的です。



消毒液の作り方

用途	嘔吐物や便の処理	トイレやドアノブ、衣類などの消毒
濃度	0.1% (1000ppm)	0.02% (200ppm)
用意するもの	<ul style="list-style-type: none"> ・ 500 mlの空のペットボトル ・ <u>塩素系</u>漂白剤 (塩素濃度約 5%) ・ 水 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 lの空のペットボトル ・ <u>塩素系</u>漂白剤 (塩素濃度約 5%) ・ 水
作り方	<p>① ペットボトルにペットボトルキャップ 2杯分の塩素系漂白剤を入れます。</p> <p>② ①に水を加え、全体を 500 mlにします。</p> <p>③ ふたをして、全体が混ざるようによく振ります。</p> 	<p>① ペットボトルにペットボトルキャップ 2杯分の塩素系漂白剤を入れます。</p> <p>② ①に水を加え、全体を 2 lにします。</p> <p>③ ふたをして、全体が混ざるようによく振ります。</p> 

★次亜塩素酸ナトリウム（塩素系漂白剤）使用上の注意

- ・ 人体には使用できません。
- ・ 酸性のものと混ぜると有毒ガスが発生しますので、**混ぜないでください！**
- ・ 液が皮膚に触れないよう、ビニール手袋などを着用の上使用してください。
- ・ 皮膚に触れた場合は、直ぐに水で洗い流してください。
- ・ 身体に異変を感じた時は病院へ行きましょう。

★消毒液（次亜塩素酸ナトリウム溶液）使用上の注意

- ・ 作成した消毒液は、**間違っ**て飲まないよう別の容器に移し替える等、取扱いに注意してください。
- ・ 時間が経つと効果は弱くなっていきます。なるべく早めに使い切りましょう。
- ・ 金属類への使用は、錆や変色の原因となる恐れがあります。

消毒方法



<消毒する際のポイント>

- ・部屋の換気を十分に行いましょう。
- ・作業する人以外は近づかないようにしましょう。
- ・嘔吐物などは、ウイルスが遠くまで飛び散っている可能性があります！広範囲の消毒が必要です。

<用意するもの>

- ・手袋
- ・マスク
- ・ガウン/エプロン
- ・長靴/シューズカバー
- ・ペーパータオル
- ・新聞紙
- ・ビニール袋

★床に嘔吐物や便が付着している場合

- ① ウイルスが飛び散らないように、0.1%消毒液を浸したペーパータオルで外側からすくうようにして静かに取り除きます。
(使用したペーパータオル等は、ビニール袋へ入れ密封し捨てましょう。)
- ② 0.02%消毒液を浸したペーパータオルで床をおおい、10分程度置いた後に拭き取り、その後水拭きをします。

★衣類に嘔吐物や便が付着している場合

- ・捨ててもいいものは、新聞紙等にくるんだものをビニール袋に入れ、消毒液をかけて密封し捨てましょう。
- ① 嘔吐物等をペーパータオルで取り除きます。
(使用したペーパータオル等は、ビニール袋へ入れ密封し捨てましょう。)
 - ② 85℃で1分以上の煮沸消毒、または、0.02%消毒液に30分程度浸してから、他のものと分けて洗濯します。

※カーペットや布団など洗濯できないものには、スチームアイロンや布団乾燥機が効果的です。

★嘔吐物や便が付着していないドアノブやトイレの消毒

- ① 0.02%消毒液を浸したペーパータオルで拭き、その後水拭きをします。

※作業終了後は、手洗いをしっかり行いましょう。

※その他 詳しい情報はこちらをご覧ください。

ノロウイルスに関する Q&A

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html